

# AECスタート

## —東南アジアビジネスの新たな展望

ローランド・ベルガー  
シニアコンサルタント  
石毛陽子

### 完全な AEC 実現への通過点

ASEAN 経済共同体 (AEC) 構想がいよいよ発足する。AEC とは ASEAN の成長に向けて、2008 年から 15 年 12 月発足を目指して進められてきた取り組みで、以下の 4 つの戦略目標が設定されている (図表 1)。AEC により、ASEAN 域内におけるヒト・モノ・カネの自由な移動が促進される。6 億人を抱える市場の魅力はさらに増し、対外投資が呼び込まれ、ASEAN 経済の発展につながるだろう。ただし現状では年内での完全な AEC の実現は難しく、今年末は 1 つの重要な通過点としながらも、その後引き続き課題遂行のための努力が進められていく方針である。

まず戦略目標のうち、「単一の市場と生産基地」における「物品の自由な移動」について、関税の撤廃は順調に進んでいる。しかし、貿易における数量制限や申請に対する承認が制限なく与えられる自動輸入の禁止など、非関税障壁は各国で多く残されており、実質的な貿易の円滑化に向けての道りは遠い。

また物品以外の自由な移動も滞っている。例えば「ヒト」の移動については、そもそも対象が熟練労働者に限定されている。現在、エンジニアや医師などの特定 8 業種における域内移動について各国間の相互承認協定が締結されているが、言語・各国規制の問題から実現には至っていない。

「競争力のある経済地域」においては、インフラ開発や法整備などがテーマとして挙げられているが、インフラ開発は資金不足や政治的混乱により停滞、法整備に至っては後発加入国において特に進んでいない。

「公平な経済発展」については、中小企業支援の各種施策や人材育成などのソフトインフラを中心とした ASEAN 統合イニシアチブ上のプログラムを展開しているが、効果が出るのはまだ先になるだろう。

### 拡大する事業機会、柔軟な戦略必要

AEC の完全な実現は先とはいえ着実に自由化は進んでおり、今後多くのビジネスチャンスがもたらされるだろう。ビジネスチャンスは、①モノ・ヒトの移動障壁の低減、②モノ・ヒトの移動量の

図表 1 : AEC における 4 つの戦略目標

単一の市場と生産基地 Single Market and Production Base	競争力のある経済地域 Competitive Economic Region	公平な経済発展 Equitable Economic Development	グローバル経済への統合 Integration into the Global Economy
<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 物品の自由な移動</li> <li>&gt; サービスの自由な移動</li> <li>&gt; 投資の自由な移動</li> <li>&gt; 資本の自由な移動</li> <li>&gt; 熟練労働者の自由な移動</li> <li>&gt; 優先統合分野</li> <li>&gt; 食料・農業・林業</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 競争政策</li> <li>&gt; 消費者保護</li> <li>&gt; 知的財産権</li> <li>&gt; インフラ開発 (輸送・エネルギー・情報通信) 等</li> <li>&gt; 税制</li> <li>&gt; 電子商取引</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 中小企業</li> <li>&gt; ASEAN 統合イニシアチブ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>&gt; 対外関係における経済的なリレーション</li> </ul>

Source : ASEAN Economic Community Scorecard (2012) よりローランド・ベルガー作成